

きずな

発行 綾部市教育委員会教育部社会教育課

電話 0773-42-4326

E-mail shakaikyoiku@city.ayabe.lg.jp

非認知
能力

どちらの能力も
よりよく生きるために
必要な能力

認知
能力



学力や知能といった指標で測られる認知能力と、コミュニケーション能力や自尊心、社会性など数値で示すことが困難とされる非認知能力は、正反対の能力だと思われがちですが、二つの能力は密接にかかわり、相互に作用しあっています。どちらの能力もよりよく生きるために必要な能力で、車の両輪のようなものです。

今回は、認知能力と非認知能力を両方とも伸ばしていくための一例を紹介します。



- ・ 毎朝決まった時刻に起きるなど、生活習慣が安定している。
- ・ 日常的に本や新聞などを読んでいる。
- ・ 学校図書館や地域の図書館を積極的に利用している。
- ・ 家庭の蔵書数が多い。

このような傾向から、保護者の方がお子さんの学力向上のためにできることの一つとして、生活習慣の安定と本に親しむための図書館の積極的な利用が大切になると考えられます。

～読書で得られる 学力向上のエビデンス(根拠)～



全国学習状況調査の「読書は好きですか。」の質問事項に対して72%の児童が好きと回答しています。これに対して、「普段(月曜日から金曜日)、一日当たりどれくらいの時間読書をしますか。」の質問事項には、約40%の児童が全くしないか、10分以下と回答しています。

この調査結果より、読書が好きな児童が多い反面、日常的に読書をしている児童が少ないことが読み取れます。

ここで保護者の皆さんの出番です。幼少期のお子さんには読み聞かせを、もう少し大きなお子さんには手の届く範囲に本を置くことで読書への興味を高め学力を伸ばすことにつながります。



さらに学習効果を高めるために、読んだ本や新聞のニュースなどについて親子で話し合うことも効果的です。



保護者の皆さんが、お子さんの学力向上のためにできることの一つが読書習慣の確立です。

保護者の皆さんも、お子さんと一緒に本に親しむ時間がもてるといいですね。



～「あやテラス」に新図書館オープン～

綾部市に、昨年11月末新図書館がオープンしました。木の温もりが感じられる空間に、約9万冊を超える蔵書と、お話の部屋、静読室を設けています。

この機会に、お子さんと一緒に図書館を利用されてみてはどうでしょう。

